慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	サプライヤーの選択基準と組織文化の関係について
Sub Title	
Author	大島, 祥平(Oshima, Shohei) 余田, 拓郎(Yoda, Takuro)
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	2010
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	修士学位論文. 2010年度経営学 第2507号
Genre	Thesis or Dissertation
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00002010-2507

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

学籍番号	氏名
80930157	大島 祥平

主査	副査 1	副査 2
余田 拓郎	磯辺 剛彦	小幡 績

研究テーマ

サプライヤーの選択基準と組織文化の関係について

内容の要旨

本研究では、産業財購買におけるサプライヤーの選択基準と組織文化の関係について明らかにする。これまでに、企業の購買組織の選考基準に関する研究はされてきた。しかしながら、その選択基準の順序は明確にされておらず、各研究において限界が、選択基準の考察の範囲が選択基準要素全般および製品カテゴリーの影響のみであり、地域や業界、国家間等による差異など、範囲を拡大しておこなう必要性があるとともに、研究対象それ自体の範囲を拡大して行うべきであるという指摘がなされている。この研究では、サプライヤー選択基準について、「組織文化」との関係を検討する事によって、これらの限界を超えてインプリケーションを得ようとする。「組織文化」という、地域や業界、企業の組織構造などを内包する変数とサプライヤー選択基準の関係を明らかにすることを目的とする。

結果、組織文化の特徴のうち、複数の特徴が企業のサプライヤー選択基準と関係していることが明らかとなった。この成果は、供給者のマーケティング担当者にとって価値があるだけではなく、組織のマネジメントを行うマネージャーにとっても価値があると考える。